

# LOVE

## まさお君が行く!



日本一の  
ダメ犬ラブラドールが  
日本中にラブを届ける!

6.23  
全国  
ロードショー!

香取慎吾 & まさお

広末涼子 ・ 成海璃子 光石 研

浅野和之 左 崎枝 木下隆行 (TKO) 大久保佳代子 (オアシス) 神田瀧夢

小野武彦 寺島 進

監督: 大谷健太郎 脚本: 高橋 泉 音楽: 上田 禎

原作: テレビ東京「ペット大集合! ボチボチまさお君が行く! ボチボチペットの国〜」

[www.love-masao.com](http://www.love-masao.com)

まさかのコンビが奇跡を起こす! 実話から生まれた感動ストーリー

# 第146期 報告書

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)



松竹株式会社

# 松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

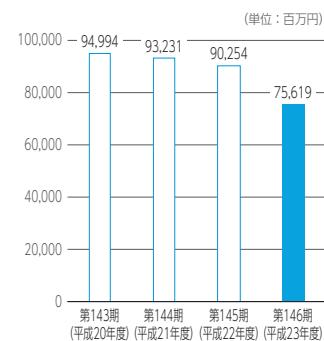
さて、当社は第146期（平成23年3月1日から平成24年2月29日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

なお、当期の期末配当につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。

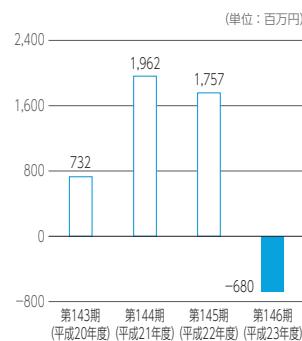
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

## 連結決算ハイライト

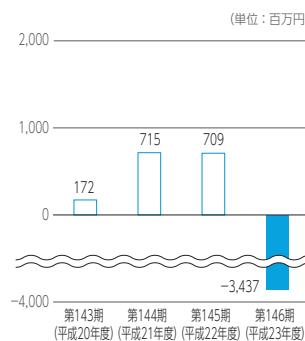
### 売上高



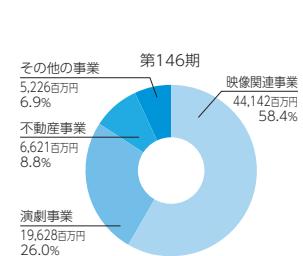
### 経常利益



### 当期純利益



### 事業別売上高



## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災による一時的な景気後退から持ち直してきたものの、企業収益・雇用情勢は依然として厳しく、世界経済では欧州の財政問題や歴史的な円高水準の継続に加えて、新興国経済停滞等の景気下振れの懸念材料も残され、先行き不透明かつ予断を許さない状況のまま推移しました。

映画業界は、3D元年と言われ、過去最大の興行収入であった平成22年に比べ、震災の影響や100億円突破作品がなかったことなどから、興行収入1,811億9,700万円（前年比82.1%）、入場人員1億4,472万6千人（前年比83.0%）と前年を大きく下回りました。その一方で、一昨年から進んでいるデジタル化には拍車がかかり、全国3,339スクリーンの内、1,987スクリーンがデジタル対応スクリーンへと変化し、その中で951スクリーンが3D対応可能となりました。

演劇業界は、以前からの不況傾向や震災の影響により、お客様の消費活動の低迷、企業や団体観劇の自粛等、歌舞伎、一般演劇問わず厳しい興行となりました。

不動産業界は、業界の景気回復の兆しが見えた矢先、震災の影響により国内外の投資家の投資意欲が減退し、さらに欧州の財政問題や米国の景気低迷等複合的な要因が重なり、依然として不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開しました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高75,619百万円（前連結会計年度比83.8%）、営業利益874百万円（同25.9%）、経常損失680百万円（前連結会計年度は経常利益1,757百万円）となり、特別利益406百万円、特別損失3,191百万円を計上し、当期純損失は3,437百万円（前連結会計年度は当期純利益709百万円）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

### 映像関連事業

【配給】邦画9本、洋画2本、アニメ4本、シネマ歌舞伎4本、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。上期は、期首に発生した震災の影響により十分な宣伝活動ができず、また、期待作の「唐山大地震―想い続けた32年―」の公開を中止したこともあり苦戦しましたが、ゴールデンウィーク以降は、第35回日本アカデミー賞において作品賞等最多10部門で最優秀賞を受賞した「八日目の蟬」を筆頭に、堅調な成績を収めました。下期に入り、期待していた作品が苦戦したものの、お正月作品として公開した「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」「映画 けいおん！」が健闘しました。

【興行】平成23年3月1日付で当社の映画興行部門を分割して統合した100%連結子会社の株式会社松竹マルチプレックスシアターズにおきまして、邦画、洋画合わせて350本の作品を公開しましたが、ヒット作の減少、震災による映画館の休止やお客様の消費活動の自粛等により、前年を下回る興行成績となりました。当社グループにおいては、復旧工事を速やかに行い、多くの映画館で早期に営業を再開しました。しかし、被害の大きかったMOVIX利府は5月20日から、MOVIX仙台は6月18日から部分再開したものの、完全再開はMOVIX利府が8月1日、MOVIX仙台が7月15日となり、時間を要しました。また一部の映画館では、節電要請により営業時間の短縮を余儀なくされました。一方、平成23年5月4日には株式会社マルチプレックスシアターズが幹事である関西最大級の都市型シネコン「大阪ステーションシティシネマ」（共同事業体）がオープンし、話題を集めました。

【テレビ制作】人気シリーズ「赤かぶ検事奮戦記3」、スペシャル時代劇「鬼平犯科帳スペシャル〜一寸の虫」「鬼平犯科帳スペシャル〜盗賊婚礼」「必殺仕事人2012」、映画のリメイク作品である「幸福の黄色いハンカチ」、終戦企画である「犬の消えた日」、お正月の7時間時代劇「忠臣蔵〜その義その愛〜」等、11作品12



「八日目の蟬」  
第35回日本アカデミー賞最多10部門最優秀賞受賞  
©2011映画「八日目の蟬」製作委員会



「映画 けいおん！」  
©かきふらい・芳文社/桜高軽音部



新橋演舞場平成23年9月  
「菅原伝授手習鑑 車引」  
©松竹株式会社

本を制作しました。

【映像版權】《DVD・ブルーレイディスク販売》「大奥」「武士の家計簿」「劇場版 戦国BASARA―The Last Party―」「スパイクキッズ4D：ワールドタイム・ミッション」の劇場公開作品を発売しました。また、毎月過去の人気作品をお求めやすい価格でDVD化し販売する「あの頃映画 松竹DVDコレクション」キャンペーンを実施し、好評を博しました。《放映権販売》地上波局へ「釣りバカ日誌19ようこそ！鈴木建設御一行様」「母べえ」「築地魚河岸三代目」他、BS放送局へ「東京物語」デジタル・リマスター版他、WOWOWへ特別編を含む「男はつらいよ」全48作品49本等を販売しました。

【CS放送】20周年を迎えた連結子会社の株式会社衛星劇場にて、「20周年プロジェクト」と題して歌舞伎放送を開始する等番組を充実させた他、「ホームドラマチャンネル」の「スカパー！e2」基本パックへ参入しました。

### 演劇事業

【新橋演舞場】震災の影響により、当日の公演を含む4日間の公演を中止にする等、大きな影響を受けましたが、6月頃から徐々に落ち着きを取り戻し、市川海老蔵の復帰となった「七月大歌舞伎」は大きな話題を集めました。若手花形俳優が活躍した「八月花形歌舞伎」「芸術祭十月花形歌舞伎」に加え、三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名披露「秀山祭九月大歌舞伎」と、六代目中村勘九郎襲名披露「二月大歌舞伎」の二つの襲名披露興行はそれぞれに大きな話題を集め、歌舞伎座にかわる本拠地として毎月充実した舞台を繰り広げました。

【大阪松竹座】松竹座では2年目となった「團菊祭五月大歌舞伎」をはじめ、年間5カ月間の歌舞伎公演を行いました。また、夏と冬の関西ジャニーズJr.公演も恒例となり、賑わいを見せました。

【南座】京の年の瀬の風物詩である「吉例顔見世興行」や「坂東

玉三郎特別舞踊公演」に加え、新しい試みである「歌舞伎ミュージアム」を開催しました。

【その他の公演】東京を中心とした各地でバラエティに富んだ作品を上演しました。≪日生劇場≫七世松本幸四郎襲名百年を記念した「十二月歌舞伎公演」や「坂東玉三郎特別舞踊公演」から「滝沢歌舞伎2011」などのジャニーズ公演まで様々なジャンルの公演を年間で5カ月間行いました。≪三越劇場≫山田洋次監督演出による「東京物語」の上演など、恒例の新派公演がレパートリーを広げました。≪シアターコクーン≫コクーン歌舞伎「盤三五大切」はフレッシュな顔ぶれでの上演となりました。≪ルテアトル銀座≫前年に続く坂東玉三郎を中心とした新春公演のほか、7年ぶりとなった翻訳劇の名作「アマデウス」は、主演の松本幸四郎と新しいキャストの顔合わせも話題を呼びました。≪平成中村座≫11月から台東区隅田公園内にて長期の公演を行い、江戸の芝居小屋の雰囲気の中で魅力的な公演を行いました。≪浅草公会堂≫若手花形俳優が活躍する「新春浅草歌舞伎」は、浅草での平成中村座との二座競演ということもあり、地域を挙げて大いに賑いました。

【巡業公演】震災の影響により、7月に予定しておりました公文協主催の「松竹大歌舞伎」東コース・中央コースは公演中止を余儀なくされましたが、9月には予定通り西コースを上演、また4月には「第二十七回四国こんぴら歌舞伎大芝居」を行いました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】≪シネマ歌舞伎≫古典の名作「女殺油地獄」「熊谷陣屋」を上映し、また泉鏡花作品の「天守物語」「海神別荘」を上映しました。≪METライブビューイング≫2010-11シーズン後半の「クニーベルングの指環 第1夜」ワルキューレ（ワーグナー）」等6演目に加え、2011-12シーズン前半の「アンナ・ボレーナ（ドニゼッティ）」「ドン・ジョヴァンニ（モーツァルト）」「クニーベルングの指環 第2夜」ジークフリート（ワーグナー）」等7演目を上映しました。また映画館上映のみならずBS・CS放送での放映権も販売し、ファン層

の拡大に努めました。≪その他≫歌舞伎座さよなら公演の舞台収録映像は、全8巻のDVDブックとして全国の書店等で発売されました。平成25年春の歌舞伎座再開場を目指し、歌舞伎ライセンス事業に力をいれ歌舞伎オリジナル印傳（伝統皮革工芸）商品等の開発を行いました。

## 不動産事業

不動産賃貸は、厳しい業界市況の中、東劇ビル、新宿松竹会館、築地松竹ビル（ADK松竹スクエア）、大船の松竹ショッピングセンター、松竹倶楽部ビル、新木場倉庫等が順調に推移し、安定収入の確保に貢献しました。また、有楽町マリオンにおいて、新規テナントとしてルミネ有楽町店が平成23年10月28日にオープンし、好調な成績を収めております。

## その他の事業

≪プログラム・キャラクター商品≫「パイレーツ・オブ・カリビアン 生命の泉」「ハリー・ポッターと死の秘宝PART2」等の大作の他、「鋼の錬金術師 嘆きの丘の聖なる星」「劇場版 戦国BASARA-The Last Party-」「劇場版 テニスの王子様 英国式庭球城決戦!」「映画 けいおん!」等のアニメ作品を販売し、高い購買率で推移しました。

≪イベント事業≫平成23年5月、大井競馬場内にリニューアル開業した観戦型レストラン「ダイヤモンドターン」が好調で、特に夏休みや冬休みの営業期間には、連日ほぼ満席の状況が続きました。同月に、劇場外では初となる歌舞伎関連商品の直営店舗「松竹歌舞伎屋本舗」が、東京駅八重洲地下街に新規開店し、好調に推移しました。また、「わが心の歌舞伎座展」や「ハリー・ポッター グッズコレクション」等の演劇・映画関連イベント事業を国内各地において展開しました。



三越劇場平成24年1月  
「東京物語」  
©松竹株式会社



ルミネ有楽町店



ダイヤモンドターン  
©松竹株式会社

## 対処すべき課題

今後のわが国の経済は、以前から続くデフレや雇用情勢悪化懸念に加え、欧州の財政問題等を背景とした企業収益の悪化や、電力供給の制御、原子力災害の影響等、先行きは依然として厳しい状況になると予想されます。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、また電力事情等の社会情勢に対応しつつ、企業価値を高め、幅広い世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

≪映像関連事業≫映画製作・配給につきましては、時代のニーズをとらえた作品の提供に努めながら、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に邁進して参ります。モントリオール映画祭で審査員特別グランプリを獲得した「わが母の記」や震災で撮影延期となっていた山田洋次監督の「東京家族」等、期待作の公開を予定しております。

映画興行につきましては、連結子会社の株松竹マルチプレックスシアターズにおいて、より一層の収益力強化に向けて経費削減と効率的運営に努めて参ります。また、デジタル映写設備および3D機器の導入設置を進め、お客様に選ばれるシネコンを目指してサービスの拡充に努めて参ります。

≪演劇事業≫平成23年から続く三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名、六代目中村勘九郎襲名に加え、6月に新橋演舞場からスタートする二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名・五代目市川團子初舞台という大きな話題の歌舞伎公演を中心に、目前に迫った歌舞伎座再開場に向けて、歌舞伎人気を盛り上げるべく、より充実した舞台の製作・興行に努めて参ります。また、歌舞伎公演だけでなく、ミュージカル「ジェーン・エア」を日生劇場と博多座にてロングランで再演する他、若い観客層を狙ったフジテレビとの共同主催作品「ウサニ」を企画する等、一般演劇や新しい企画にも積極的に取り組んで参ります。シネマ歌舞伎は、「高野聖」等を上映します。また、7年目を迎えるMETライブビューイングは、「クニーベルングの指環（ワーグナー）」4部

作の掉尾を飾る「神々の黄昏」をはじめ、「マノン（マスネ）」「椿姫（ヴェルディ）」等、名舞台の数々を上映して参ります。

≪不動産事業≫オフィス賃貸事業の低迷に加えて、商業店舗業績の不況の中、各テナントとの厳しい賃料交渉が続くこととなりますが、これまで以上に業界の動向に関わる広範かつ的確な情報入手に注力し、テナント戦略を創意工夫して参ります。また、各ビルの保全管理に注力し、快適な環境作りおよび省エネに努めるとともに、安定的な収益確保のために、より一層の経費削減と効率的運営に努めます。

さらに、歌舞伎座の建替えにつきましては、平成25年春竣工に向けて建設工事が続いております。新しい歌舞伎座で、歌舞伎が次代に向け継承・発展し、新たな日本の文化発信拠点として寄与すべく、今後とも工事監理をするとともに、高い耐震性能と自家発電設備を有したオフィスビルとして、テナントの誘致活動に邁進して参ります。

≪その他の事業≫景気動向の不透明感から依然として一般顧客の買い控え傾向が続く中、刻々と変化する顧客ニーズおよびマーケットへの迅速な対応に重点を置き、より多くのお客様に喜んでいただけるプログラム、キャラクター商品の提供に努めて参ります。また、「シャーロック・ホームズ シャドウ ゲーム」「ダークナイト ライジング」「劇場版 TIGER&BUNNY-The Beginning-」「大奥【右衛門佐・綱吉篇】」「ホビット 思いがけない冒険」等大作・話題作を予定しております。既存のファンだけでなく、新規の一般消費者の購買意欲をより一層喚起するような商品作りや販売展開を心掛けて参ります。また、イベント事業については、従来の催事に加え、関東圏だけでなく関西へも積極的な営業展開を図り、収益拡大を目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「わが母の記」  
©2012「わが母の記」製作委員会



平成中村座平成24年3月  
「一條大蔵譚」  
©松竹株式会社



歌舞伎座完成予想図（晴海通り側）  
©松竹株式会社、株式会社歌舞伎座

## 連結財務諸表

### ■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目           | 当期末          | 前期末          |
|--------------|--------------|--------------|
|              | 平成24年2月29日現在 | 平成23年2月28日現在 |
| <b>資産の部</b>  |              |              |
| 流動資産         | 30,487       | 33,937       |
| 固定資産         | 141,424      | 136,935      |
| 有形固定資産       | 103,368      | 104,108      |
| 無形固定資産       | 1,701        | 2,151        |
| 投資その他の資産     | 36,353       | 30,674       |
| 繰延資産         | 22           | 41           |
| 資産合計         | 171,934      | 170,915      |
| <b>負債の部</b>  |              |              |
| 流動負債         | 29,677       | 25,670       |
| 固定負債         | 77,969       | 77,739       |
| 負債合計         | 107,647      | 103,410      |
| <b>純資産の部</b> |              |              |
| 株主資本         | 63,563       | 67,426       |
| 資本金          | 33,018       | 33,018       |
| 資本剰余金        | 30,066       | 30,066       |
| 利益剰余金        | 1,749        | 5,595        |
| 自己株式         | △ 1,270      | △ 1,254      |
| その他の包括利益累計額  | 651          | 136          |
| その他有価証券評価差額金 | 651          | 136          |
| 新株予約権        | —            | 71           |
| 少数株主持分       | 71           | △ 130        |
| 純資産合計        | 64,286       | 67,504       |
| 負債・純資産合計     | 171,934      | 170,915      |

### ■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

| 当 期<br>自 平成23年3月 1日<br>至 平成24年2月29日 | 株主資本   |        |        |        |        | その他の包括利益累計額  |               | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|---------------|-------|--------|--------|
|                                     | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式   | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 |       |        |        |
| 平成23年2月28日 残高                       | 33,018 | 30,066 | 5,595  | △1,254 | 67,426 | 136          | 136           | 71    | △130   | 67,504 |
| 連結会計年度中の変動額                         |        |        |        |        |        |              |               |       |        |        |
| 剰余金の配当                              |        |        | △414   |        | △414   |              |               |       |        | △414   |
| 当期純損失                               |        |        | △3,437 |        | △3,437 |              |               |       |        | △3,437 |
| 連結範囲の変動                             |        |        | 9      |        | 9      |              |               |       |        | 9      |
| 持分法の適用範囲の変動                         |        |        | △3     |        | △3     |              |               |       |        | △3     |
| 自己株式の取得                             |        |        |        | △16    | △16    |              |               |       |        | △16    |
| 持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減           |        |        |        | △0     | △0     |              |               |       |        | △0     |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)           |        |        |        |        |        | 514          | 514           | △71   | 202    | 644    |
| 連結会計年度中の変動額合計                       |        |        | △3,846 | △16    | △3,862 | 514          | 514           | △71   | 202    | △3,217 |
| 平成24年2月29日 残高                       | 33,018 | 30,066 | 1,749  | △1,270 | 63,563 | 651          | 651           | —     | 71     | 64,286 |

### ■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目                    | 当 期                          | 前 期                          |
|-----------------------|------------------------------|------------------------------|
|                       | 自 平成23年3月 1日<br>至 平成24年2月29日 | 自 平成22年3月 1日<br>至 平成23年2月28日 |
| 売上高                   | 75,619                       | 90,254                       |
| 売上原価                  | 44,063                       | 51,334                       |
| 売上総利益                 | 31,555                       | 38,920                       |
| 販売費及び一般管理費            | 30,681                       | 35,548                       |
| 営業利益                  | 874                          | 3,371                        |
| 営業外収益                 | 493                          | 541                          |
| 営業外費用                 | 2,048                        | 2,155                        |
| 経常利益又は損失(△)           | △ 680                        | 1,757                        |
| 特別利益                  | 406                          | 823                          |
| 特別損失                  | 3,191                        | 1,209                        |
| 税金等調整前当期純利益又は損失(△)    | △ 3,464                      | 1,371                        |
| 法人税、住民税及び事業税          | 320                          | 308                          |
| 法人税等調整額               | △ 550                        | 509                          |
| 法人税等合計                | △ 229                        | 817                          |
| 少数株主損益調整前当期純利益又は損失(△) | △ 3,234                      | —                            |
| 少数株主利益                | 203                          | △ 155                        |
| 当期純利益又は損失(△)          | △ 3,437                      | 709                          |

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目                   | 当 期                          | 前 期                          |
|----------------------|------------------------------|------------------------------|
|                      | 自 平成23年3月 1日<br>至 平成24年2月29日 | 自 平成22年3月 1日<br>至 平成23年2月28日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 312                          | 6,634                        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 8,795                      | △ 22,589                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 4,051                        | 13,816                       |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | △ 4,431                      | △ 2,138                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 15,989                       | 18,127                       |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △ 39                         | —                            |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 11,519                       | 15,989                       |

## 個別財務諸表

### ■ 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目           | 当期末          | 前期末          |
|--------------|--------------|--------------|
|              | 平成24年2月29日現在 | 平成23年2月28日現在 |
| <b>資産の部</b>  |              |              |
| 流動資産         | 16,040       | 19,597       |
| 固定資産         | 100,992      | 101,821      |
| 有形固定資産       | 50,527       | 53,950       |
| 無形固定資産       | 1,161        | 1,210        |
| 投資その他の資産     | 49,303       | 46,660       |
| 繰延資産         | 22           | 41           |
| 資産合計         | 117,055      | 121,460      |
| <b>負債の部</b>  |              |              |
| 流動負債         | 22,231       | 17,507       |
| 固定負債         | 27,932       | 36,370       |
| 負債合計         | 50,164       | 53,878       |
| <b>純資産の部</b> |              |              |
| 株主資本         | 66,140       | 67,285       |
| 資本金          | 33,018       | 33,018       |
| 資本剰余金        | 29,929       | 29,929       |
| 利益剰余金        | 3,999        | 5,128        |
| 自己株式         | △ 807        | △ 790        |
| 評価・換算差額等     | 750          | 224          |
| その他有価証券評価差額金 | 750          | 224          |
| 新株予約権        | —            | 71           |
| 純資産合計        | 66,890       | 67,582       |
| 負債純資産合計      | 117,055      | 121,460      |

### ■ 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

| 当 期<br>自 平成23年3月 1日<br>至 平成24年2月29日 | 株主資本   |          |         |           |         |         |        |        |              |            | 評価・換算差額等 |     | 新株予約権  | 純資産合計 |
|-------------------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------|---------|--------|--------|--------------|------------|----------|-----|--------|-------|
|                                     | 資本金    | 資本剰余金    |         | 利益剰余金     |         |         | 自己株式   | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 |          |     |        |       |
|                                     | 資本準備金  | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 固定資産圧縮積立金 | 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |        |        | その他有価証券評価差額金 |            |          |     |        |       |
| 平成23年2月28日 残高                       | 33,018 | 27,935   | 1,993   | 29,929    | 3,554   | 1,573   | 5,128  | △790   | 67,285       | 224        | 224      | 71  | 67,582 |       |
| 事業年度中の変動額                           |        |          |         |           |         |         |        |        |              |            |          |     |        |       |
| 実効税率変更による固定資産圧縮積立金の増加               |        |          |         |           | 290     | △290    | —      |        | —            |            |          |     | —      |       |
| 固定資産圧縮積立金の取崩                        |        |          |         |           | △41     | —       | —      |        | —            |            |          |     | —      |       |
| 剰余金の配当                              |        |          |         |           | △415    | △415    |        |        | △415         |            |          |     | △415   |       |
| 当期純損失                               |        |          |         |           | △713    | △713    |        |        | △713         |            |          |     | △713   |       |
| 自己株式の取得                             |        |          |         |           |         |         |        | △16    | △16          |            |          |     | △16    |       |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)             |        |          |         |           |         |         |        |        | 525          | 525        |          | △71 | 454    |       |
| 事業年度中の変動額合計                         |        |          |         |           | 248     | △1,377  | △1,128 | △16    | △1,145       | 525        | 525      | △71 | △691   |       |
| 平成24年2月29日 残高                       | 33,018 | 27,935   | 1,993   | 29,929    | 3,803   | 196     | 3,999  | △807   | 66,140       | 750        | 750      | —   | 66,890 |       |

# 江戸の芝居小屋「平成中村座」



©松竹株式会社

この度の平成中村座公演は、浅草隅田公園での開催となりました。同地は平成中村座旗揚げの地であり、猿若町・待乳山聖天といった江戸中村座とも所縁の深い場所が多いところです。本興行は六ヶ月間という初めてのロングラン公演という事で、毎月の多彩な出演者・演目に注目が集まりました。江戸の芝居小屋というイメージ通り、平成中村座はお客様と舞台の距離がとても近い事が魅力の一つです。また舞台・花道上のみならず、俳優が演目の中で客席通路を通行するなど、お客様との距離を意識した演出も好評を得ました。まさに客席と舞台が一体となった空間は、現代の大劇場を中心とした演劇形態とはまた違った雰囲気、芝居への親しみやすさを生み出しました。「まるで錦絵をみているようだ」と感想を述べられるお客様もいらっしゃり、

平成中村座のコンセプトがお客様に伝わっているという事も実感できました。

公演期間半ばの二月は、建物のメンテナンスという事で本興行は開催致しませんでした。そこで浅草への地元貢献という目的で、約一週間にわたり地元小学生を対象とした歌舞伎教室も開催致しました。本興行の舞台スタッフと松竹社員がゼロから作り上げた内容は、小学生たちの興味を最大限に引き出しとても充実した催しでありました。

三月には中村勘九郎丈の襲名披露興行も行われ、普段歌舞伎をご最下さるお客様はもちろんの事、初めてご覧頂くお客様にも大勢ご来場いただき、演劇部の課題の一つである「歌舞伎をご覧頂くお客様の裾野を拓げる」という面においても達成できたと思っております。



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社

## 新 | 作 | 映 | 画 | 情 | 報



# 明察 天地

「てんちめいさつ」

岡田准一 宮崎あおい

監督：滝田洋二郎

原作：沖方丁

音楽：久石譲

2012年9月15日 (土) 全国公開

「おくりびと」の滝田洋二郎監督が米国アカデミー賞受賞後初メガホンを取った、2010年本屋大賞第1位受賞の沖方丁（うぶかた とう）のベストセラー小説の映画化です。800年にわたり使用されてきた暦の誤りに気づき、正しい暦の計算と作り上げた新しい暦の導入に奮闘した安井算哲の姿が描かれます。

算術や神道に長け、星をこよなく愛する算哲は、会津藩の初代藩主・保科正之の命を受けて日本全国の北極星の高度を測り、その土地の位置を図る北極出地の旅の途上で暦の重大な誤りに気づきます。その誤りを正すべく暦を改革する大事業を担うことになります。しかしそれは当時、暦を司る権力、「朝廷への挑戦」を意味しました。また、暦の作成には正確に星の動きを知る必要があり、そのためには途方もない計算を極めねばなりません。はたして改暦は成功するのか？

妻のえんや、よき理解者であった水戸光圀、多くの仲間たちの支えを受け、権力から度重なる理不尽な仕打ちを受けつつも、生涯を賭けて改暦に挑戦した男の、壮大な天文歴史エンターテインメントです！

会社の概要

商号 松竹株式会社  
 設立 大正9年11月  
 資本金 33,018,656,642円  
 従業員数 535名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号  
 電話 03-5550-1533 (総務課)  
 関西支社 (大阪)  
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

|         |        |
|---------|--------|
| 代表取締役会長 | 大谷 信義  |
| 代表取締役社長 | 迫本 淳一  |
| 専務取締役   | 安孫子 正厚 |
| 常務取締役   | 中島 厚人  |
| 常務取締役   | 細田 光文  |
| 取締役相談役  | 上條 清人  |
| 取締役     | 武中 雅人  |
| 取締役     | 井手 良樹  |
| 取締役     | 大角 正樹  |
| 常勤監査役   | 岡田 敏明  |
| 監査役     | 中川 勝弘  |
| 監査役     | 鈴木 茂晴  |
| 監査役     | 牛島 信   |

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
- ・松竹関西サービス (株)：不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・中映 (株)：浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・松竹芸能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・(株)衛星劇場：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館 (シネマコンプレックス) の開発・運営
- ・松竹音楽出版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台 (株)：演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル：ADK松竹スクエアの賃貸借および管理
- ・KSビルキャピタル特定目的会社：資産流動化法に基づく特定資産 (歌舞伎座建替え計画におけるオフィス部分) の開発・賃貸借・管理に係る業務

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株)：複合映画館「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン)の運営
- ・(株)イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・(株)歌舞伎座：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株)：新橋演舞場その他事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株)：放送法による委託放送業務及びその他の放送一般事業

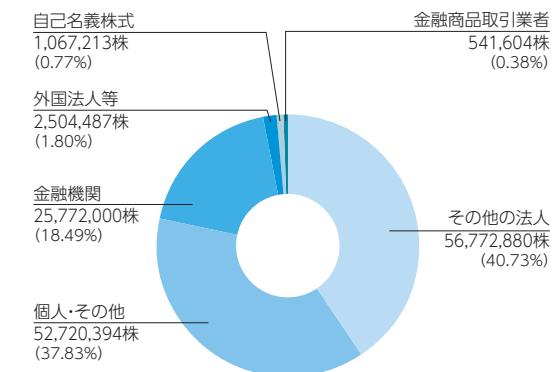
株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株  
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,067,213株を含んでおります。)  
 株主数 19,606名 (前事業年度末比1,238名減)  
 大株主 (上位10名)

| 株主名             | 持株数     | 持株比率  |
|-----------------|---------|-------|
| 株式会社歌舞伎座        | 4,802千株 | 3.47% |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 4,500   | 3.25  |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行   | 4,344   | 3.14  |
| セコム株式会社         | 3,700   | 2.68  |
| 三井物産株式会社        | 3,700   | 2.68  |
| 清水建設株式会社        | 3,690   | 2.67  |
| 株式会社大林組         | 3,600   | 2.60  |
| 西松建設株式会社        | 3,288   | 2.38  |
| 大成建設株式会社        | 3,104   | 2.24  |
| 株式会社TBSテレビ      | 2,542   | 1.84  |

(注)持株比率は自己株式(1,067,213株)を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

| 権利確定日  | 優待期間       |
|--------|------------|
| 毎年2月末日 | 毎年6月～同年11月 |
| 毎年8月末日 | 毎年12月～翌年5月 |

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

| 保有株式数     | 6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数) |           |
|-----------|---------------------------|-----------|
| 1,000株以上  | 80ポイント                    | (40ポイント)  |
| 2,000株以上  | 160ポイント                   | (60ポイント)  |
| 3,000株以上  | 200ポイント                   | (80ポイント)  |
| 5,000株以上  | 280ポイント                   | (100ポイント) |
| 8,000株以上  | 400ポイント                   | (120ポイント) |
| 10,000株以上 | 480ポイント                   | (140ポイント) |

【演劇優待 枚数基準】

| 保有株式数     | 6ヶ月優待枚数 |
|-----------|---------|
| 3,000株以上  | 2枚      |
| 5,000株以上  | 4枚      |
| 8,000株以上  | 6枚      |
| 10,000株以上 | 8枚      |
| 15,000株以上 | 12枚     |
| 20,000株以上 | 16枚     |

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。  
 ※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。  
 新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」「プラチナルーム」はご利用になれません。  
 ※3D映画は、1名様につき15ポイント(通常10ポイントの1.5倍)で、ご観賞可能となります(「新宿ピカデリー」のみ30ポイント)。

## 株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 毎年5月下旬  
株主確定基準日 定時株主総会 2月末日  
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株  
公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>  
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

### 【お知らせ】

#### 1.ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定手続きにつきましては、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなります。振込指定のお手続きにつきましては各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

#### 2.配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

#### ●1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ 【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買増し、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

##### お手続きの方法

- ①当社株式を証券会社の口座でお持ちの株主様  
お取引の証券会社へお問い合わせください。
- ②上記以外、特別口座でお持ちの株主様  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

#### ●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。  
お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。